

令和 8 年度 第 1 回
学校関係者評価委員会

令和 8 年 9 月 3 日（木） 10:15～11:30

姫路ハーベスト医療福祉専門学校

令和 8 年度 姫路ハーベスト医療福祉専門学校

第 1 回 学校関係者評価委員会 次第

日時：令和 8 年 9 月 3 日（水）10:15～11:30

場所：姫路ハーベスト医療福祉専門学校

- 1 校長あいさつ
- 2 出席者紹介
- 3 学校説明及び令和 8 年度本校自己評価の説明
- 4 令和 8 年度の本校アンケート結果についての御感想・御意見
- 5 今後の本校に望まれること
- 6 閉会あいさつ

姫路ハーベスト医療福祉専門学校 学校関係者評価委員会名簿

氏 名	所 属	任期
廣岡 徹	元兵庫教育大学大学院 教授（学校経営） (公財)兵庫県生きがい創造協会 理事・生涯学習アドバイザー	2025.4.1 ～2027.3.31
下山 治男	ハーティ訪問看護ステーション 所長	2025.4.1 ～2027.3.31
田中 洋三	はりま総合福祉評価センター 副理事長	2025.4.1 ～2027.3.31
石田 由美子	社会福祉法人やながせ会 幼保連携型認定こども園 やながせ保育園 園長	2025.4.1 ～2027.3.31
西川 一	たちえ幼稚園 理事	2025.4.1 ～2027.3.31
岸田 憲治	ゴダイ株式会社 管理統括本部 人事部 部長	2025.4.1 ～2027.3.31
摺河 愛美	姫路女学院中学校・高等学校 副校長	2025.4.1 ～2027.3.31
大坪 茂	南駅前町自治会 自治会長	2025.4.1 ～2027.3.31
平田 満世	保護者	2025.4.1 ～2027.3.31
大谷 懂	前同窓会長	2025.4.1 ～2027.3.31
北浜 伸介	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 校長	2025.4.1 ～2027.3.31
小寺 正人	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 教頭、介護福祉学科長	2025.4.1 ～2027.3.31
中村 智	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 理学療法学科長	2025.4.1 ～2027.3.31
森口 雅子	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 こども保育学科長	2025.4.1 ～2027.3.31
片山 芳信	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 くすり・化粧品学科長	2025.4.1 ～2027.3.31
藤田 啓介	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 教務部長	2025.4.1 ～2027.3.31

令和7年度第2回学校関係者評価委員会の資料に基づき頂いたご意見ご感想

令和8年2月12日(木)

はじめに

学校関係者評価委員会においては、各委員の専門的分野はもとより、学生の生活全般について多くの意見が出された。以下、概略をまとめた。

1 全体としての傾向について

令和3年度からの5年間の経年比較において、令和7年度においても、全体として学生の肯定感・満足度は高い。しかも、5年間にわたって、肯定的回答が着実に増えている。

また、アンケートにおいて「学生自身の取組」と「学校・教職員の取組」の対比において肯定的回答の関連性が読み取れ、「学生が、学校の取組や支援を肯定的に受け止め、前向きに学校生活に取り組んでいる」ことがうかがえる。

留学生のみを対象としたアンケートの二つの項目についても、肯定的回答が大きく増加しており、留学生に対する丁寧な対応が読み取れ、高く評価できる。

2 アンケート結果について

(1)「あなた自身の取組」(質問項目数10)について

評価の目標指標を「肯定的回答(そう思う・どちらかと言えばそう思う)の合計が80%」を基準とした場合、10項目の傾向は下記のとおりである。なお、()で示した数値は、今年度「そう思う」とより肯定的な回答をした比率である。

①肯定的回答が90%を超える項目

- ・問 2 「技能の取得への取組」 96.8 (67.4)
- ・問 9 「教職員とのコミュニケーション」 90.2 (55.3)

②肯定的回答が80～89%の項目

- ・問 3 「資格取得に向けた取組」 88.6
- ・問 6 「Google Classroomの活用」 87.3 (56.6)
- ・問 1 「校訓を意識した学校生活」 85.5
- ・問 5 「自主的な学校生活」 87.1 (52.4)
- ・問 8 「ハーベスト祭への参画」 81.0

③肯定的回答が80%を下回る項目

- ・問 4 「個別指導や補習の活用」 78.8
- ・問 7 「ボランティア活動と専門士像」 73.2
- ・問 10 「在学生紹介制度の活用」 71.9

目標指標の肯定的評価の合計が80%を上回る項目が、10項目中7項目あり、学生が、理念から実践まで、自身の取組を前向きに捉えていることが伺える。

また、問1「校訓を意識した学校生活」・3「資格取得に向けた取組」・9「教職員とのコミュニケーション」については、教職員アンケートの数値とも整合し、教職員の取組が学生によく反映しているものと考えられる。

問7「ボランティア活動と専門士像」については、昨年指摘した肯定的回答61.9%から73.2%に向上している。「ボランティアと専門性」の関連性が理解できたのかもしれない。

同じく問10「在学生紹介制度」（昨年度肯定的回答66.4%）も71.9%と向上している。在学中の学生には、先輩・後輩といった人間関係が薄まっていく現代にあって、この制度がより効果をあげることを期待したい。

(2)「学校の取組」（質問項目数14）について

評価の目標指標を「肯定的回答(よくできている・できているの合計が80%)」を基準とした場合、10項目の傾向は下記のとおりである。なお、()で示した数値は「よくできている」と回答した比率であり、より高い肯定度を示していると言えよう。

14項目の回答傾向は下記のとおりである。

①肯定的回答が90%を超える項目

・問19「学生の健康管理」	93.7 (57.9)
・問16「実習及び事前・事後指導」	93.6 (56.3)
・問24「オープンキャンパスの効果」	93.5 (67.5)
・問21「個人情報保護」	92.7 (61.1)
・問20「安全への配慮」	92.1 (54.1)
・問14「資格取得に向けた支援」	91.2 (53.5)
・問23「就職へのサポート」	90.6
・問12「専門性を意識した教育」	90.5

②肯定的回答が80%～89%の項目

・問15「施設・設備の整備」	88.9 (52.5)
・問22「地域貢献」	87.0
・問11「校訓を意識した学校生活」	86.9 (53.0)
・問17「学業のための相談支援・経済支援」	86.4
・問18「経済支援」	85.7
・問13「分かり易い授業」	85.5

③肯定的回答が80%未満の項目

なし

全14項目において目標指標の「肯定的回答80%以上」を達成し、80%未満の項目がなくなった。また肯定的回答が90%を超える8項目についても、その内の6項目において「よくできている」の比率が50%を上まわっている。

とりわけ、資格取得と就職につながる問16「実習及び事前・事後指導」、問14「資格取得に向けた支援」、問12「専門性を意識した教育」がそれぞれ90%以上であることは、本学のアドミッション・ポリシーを具現化したもので高く評価できる。

(3)「留学生」について（質問項目数2）

- ・問11「母国以外の人との交流」 92.3 (69.2)
- ・問12「生活一般に対する相談体制」 88.4 (61.5)

共に、肯定的評価が前年を大きく上回り、この1年間の取組の成果と評価できよう。

引き続き、学校・教職員の支援の充実をお願いしたい。

また、留学生が「ハーベストで学んでよかった」と思えるようにきめ細やかな指導、支援をお願いしたい。

おわりに

例年、学生の資質や学習態度についての課題への対応が図られていることにあわせ、アンケートの結果の全体から見て、真面目で熱心に教育活動に取り組む教職員と、やはり真面目に学習し資格取得に励む学生の姿が浮かび上がる。

とはいえ、学習への意欲が乏しい学生がいないわけではない。ただ、教育に携わる者として、学生たちが、入学した以上、しっかりと資格の取得、就職への道が歩めるよう、引き続き、丁寧な学習指導と相談・支援体制の充実を図っていただきたい。

姫路ハーベスト医療福祉専門学校
令和 8 年度 自己評価質問用紙（教職員対象）

（教育理念・目標）

問 1 建学の精神・教育方針・校訓に沿った教育活動を行っていますか。

問 2 心の教育と実学教育を重視した教育活動を行っていますか。

（学校運営）

問 3 進路先の企業等の要望に配慮した上で、カリキュラム編成や指導方法の工夫・改善を行っていますか。

問 4 情報システム等を活用し、業務の効率化に努めていますか。

（教育活動）

問 5 学生の主体性や応用力の育成を重視した指導を心がけていますか。

問 6 学生に対しては、常にカウンセリングマインドを持って接していますか。

問 7 分かり易い授業の展開に努め、授業評価（自己評価）を行っていますか。

（学修成果）

問 8 就職率、資格取得率の向上を目指した教育活動を行っていますか。

問 9 卒業生の社会的評価の把握に努め、キャリアアップを支援していますか。

（学生支援）

問 10 補習・補講等、学習成果の向上を図る取組を行っていますか。

問 11 学生生活の経済的な面や心身の健康などについて安定した学生生活を送るための支援を心がけていますか。

問 12 保護者と連絡を密にし、適切に連携していますか。

（教育環境）

問 13 施設・設備は、指導に十分活用できていますか。

問 14 防災に対する取組や気象警報への迅速な対応等、危機管理を心がけていますか。

(学生の受入れ募集)

問 15 高等学校等、接続する機関への情報提供等の取組を行っていますか。

問 16 学生募集活動に、専門性を生かして活動していますか。

問 17 卒業生紹介制度、学校関係者紹介制度を活用した募集活動を行っていますか。

(財務)

問 18 教育活動に要する費用を効率的に活用するよう意識していますか。

(法令等の遵守)

問 19 教育活動の展開に際して、法令や規則・規約を遵守していますか。

問 20 個人情報に関し、その保護のための対応ができていますか。

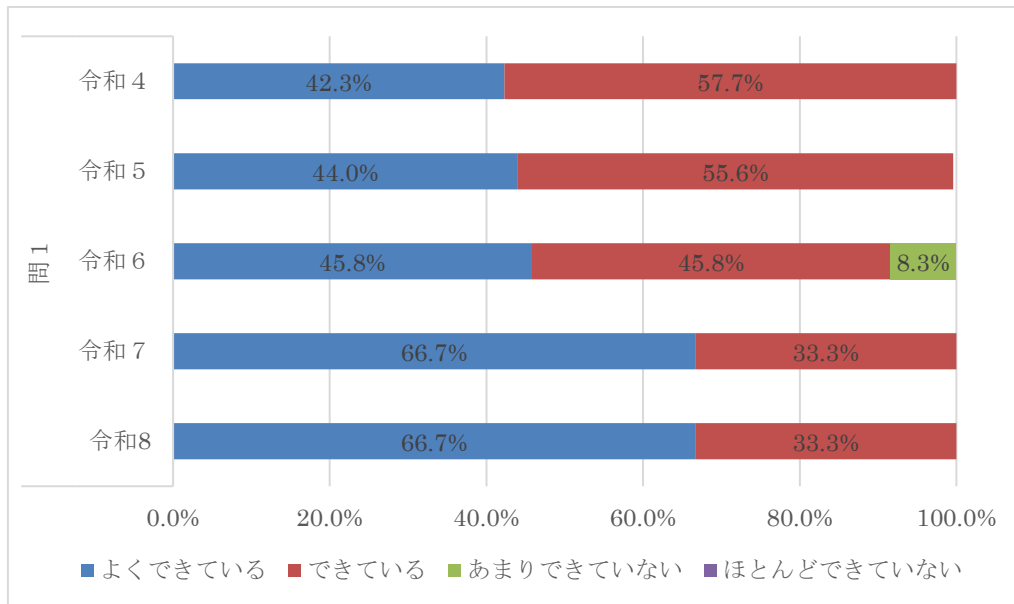
(社会貢献・地域貢献)

問 21 学校の人材や施設を活用した地域貢献を行っていますか。

職員対象の自己評価結果

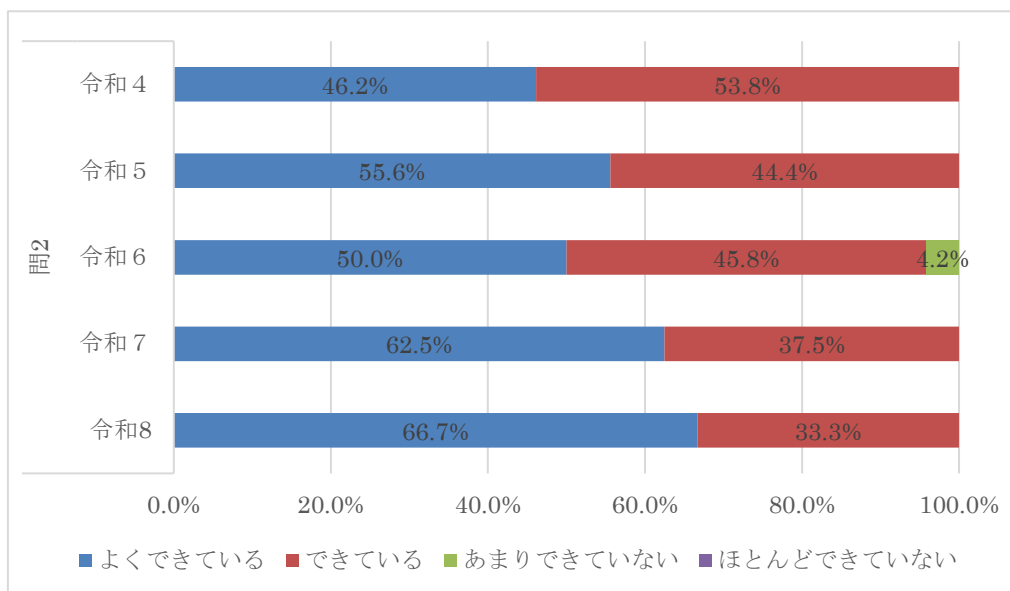
(教育理念・目標)

問1 建学の精神・教育方針・校訓に沿った教育活動を行っていますか。



・教育理念や教育目標を意識しながら、地域の要求に応じた教育活動に取り組んでいる。

問2 心の教育と実学教育を重視した教育活動を行っていますか。

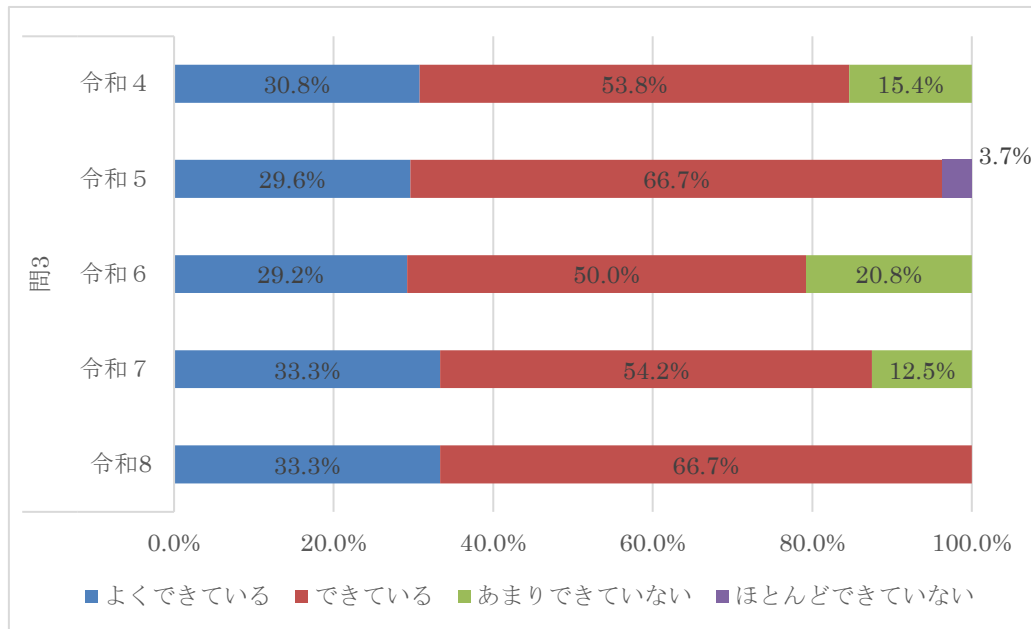


・校内だけでなく実習施設の職員や利用者様への挨拶などに繋がるよう、実践の意義を理解させながら指導を継続している。

・知識や技術だけではなく、先ずは人として、医療従事者として他者から受け入れてもらえる人間力の重要性を理解するよう努めている。

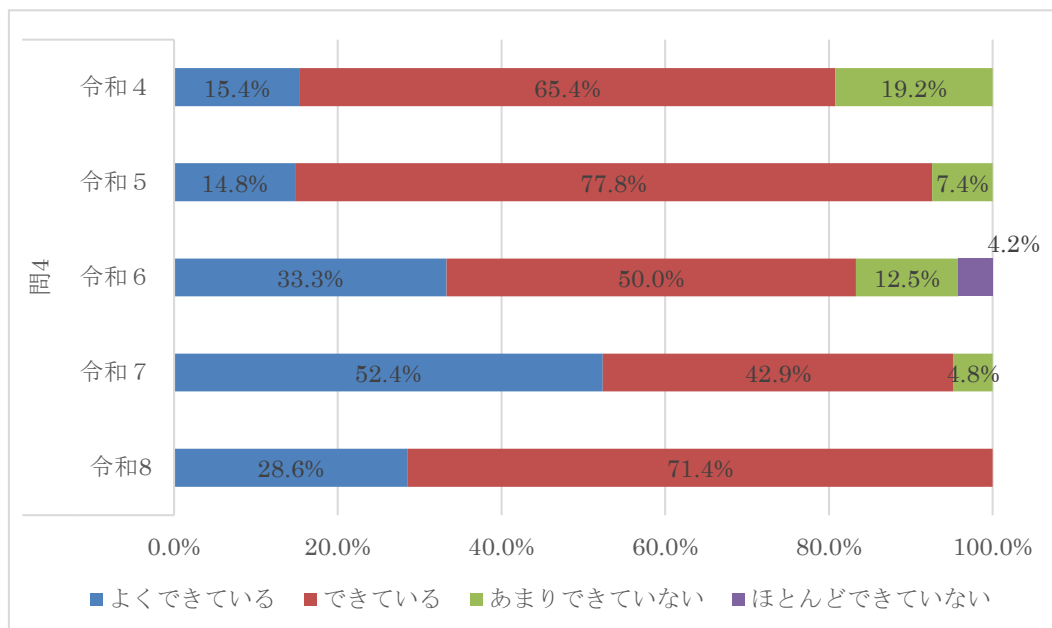
(学校運営)

問3 進路先の企業等の要望に配慮した上で、カリキュラム編成や指導方法の工夫・改善を行っていますか。



- ・実習や就職先施設のご意見と教育研修会等の参加から見える動向を踏まえて、適宜カリキュラムの見直しを図りながら、個々の学生の課題に応じ関わり方の工夫や指導を行っている。

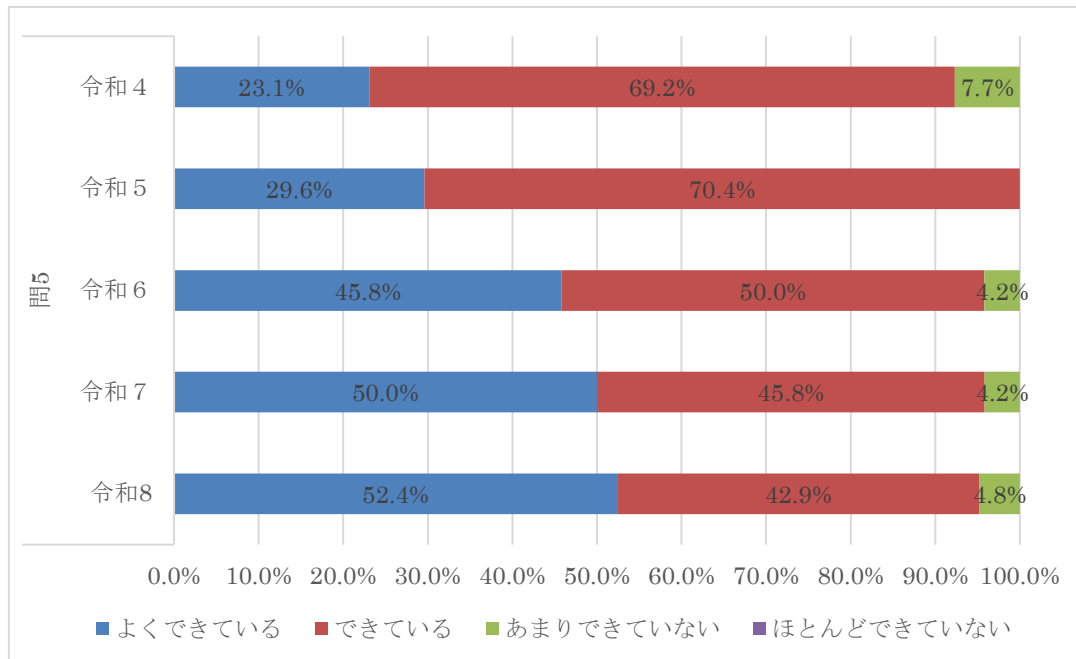
問4 情報システム等を活用し、業務の効率化に努めていますか。



- ・ google workspace を活用しながら生産性向上に取り組んでいる。
- ・ 学務システムが古くなってきている。

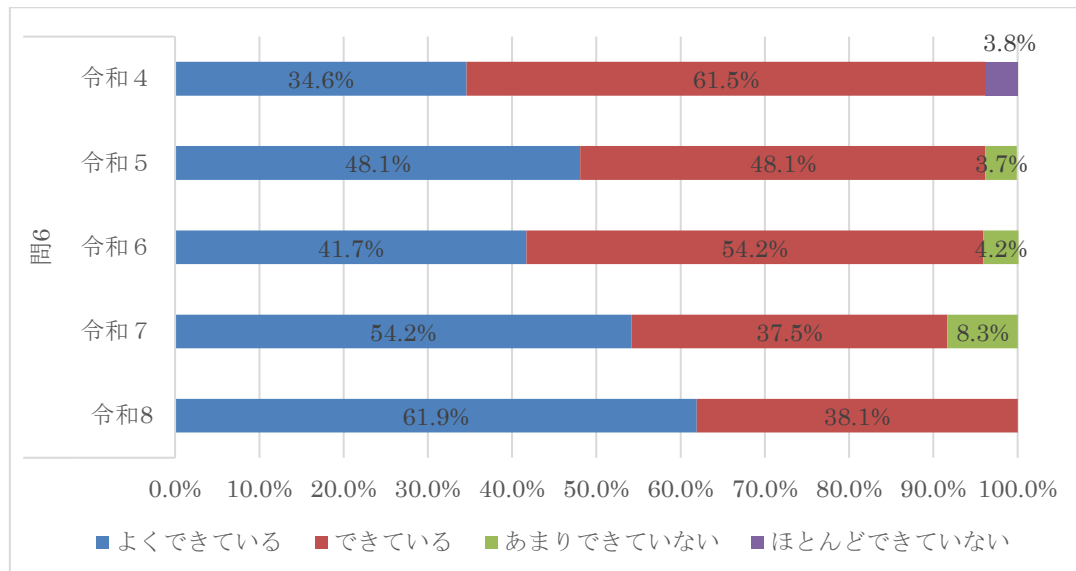
(教育活動)

問5 学生の主体性や応用力の育成を重視した指導を心がけていますか。



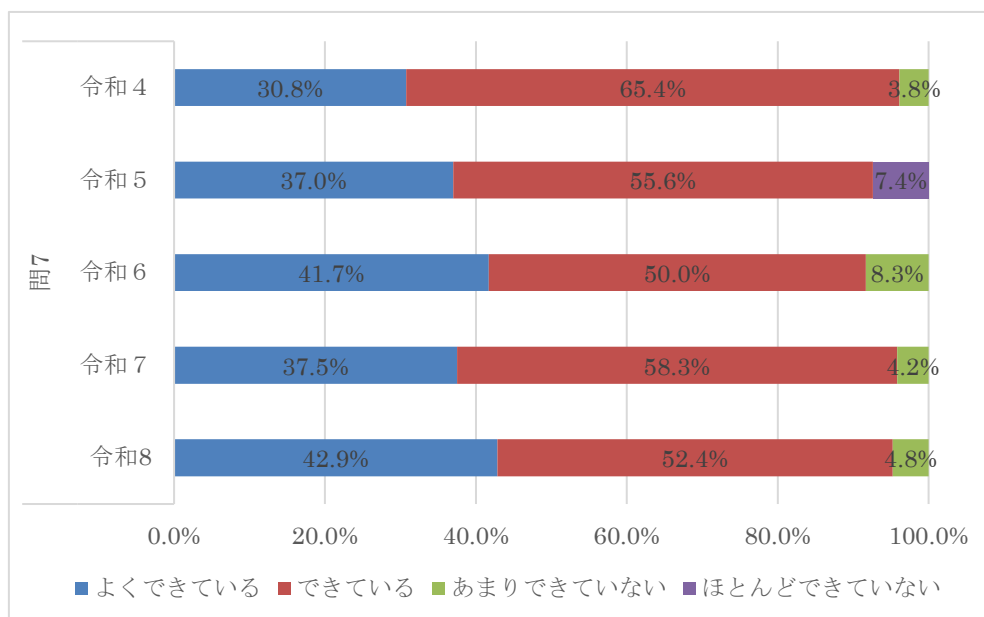
- ・日本人、留学生ともにわかりやすい授業になるよう工夫している。
- ・ティーチングアシスト制度を導入して、相互学習の推進を図っている。

問6 学生に対しては、常にカウンセリングマインドを持って接していますか。



- ・学校を良くするため、学生との会話を心掛けている。
- ・授業や面談とは別に気軽な会話で心のサポートの糸口を模索している。
- ・行動観察による早期発見を心掛けている。

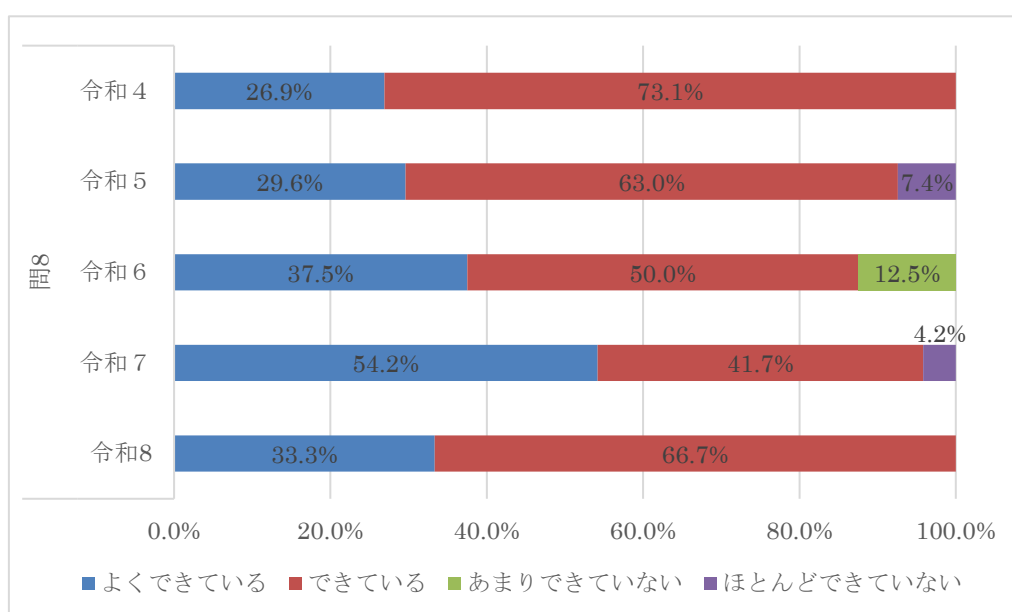
問 7 分かり易い授業の展開に努め、授業評価（自己評価）を行っていますか。



- ・学生個々のニーズや様々な課題が多様化しており、学生に寄り添った指導をこころがけている。
- ・生活指導や支援にかかる時間が多くなっているが、今後は振り返りに掛ける時間捻出にも心掛けている。

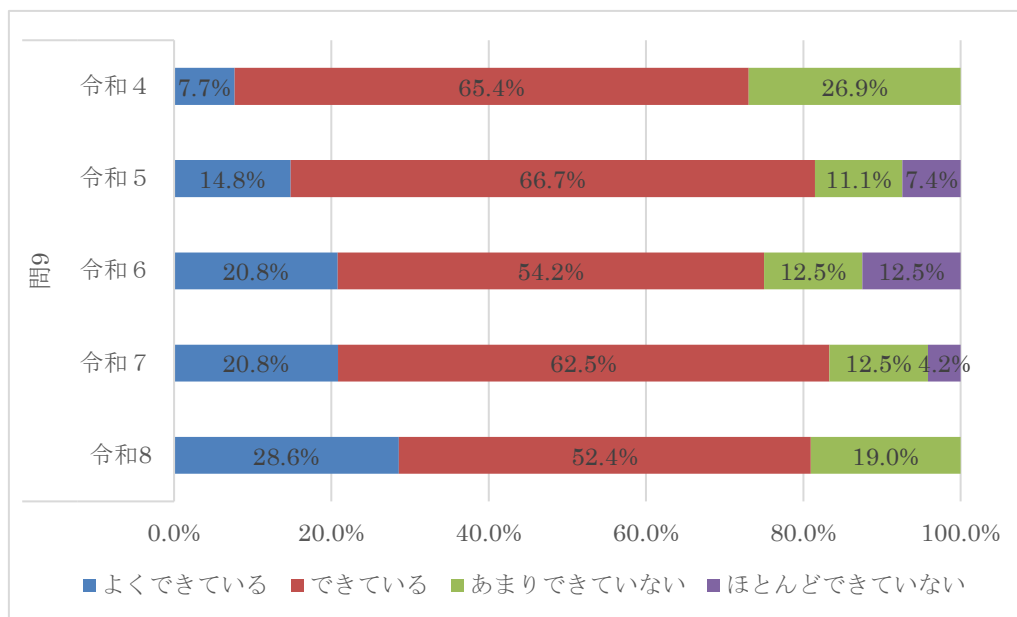
(学修成果)

問 8 就職率、資格取得率の向上を目指した教育活動を行っていますか。



- ・教員自らのスキルアップを行い、今現場で求められているものを生きた教材として学生へ伝えることを心掛けている。
- ・資格取得に向けて入学時から段階的に取り組んでいる。

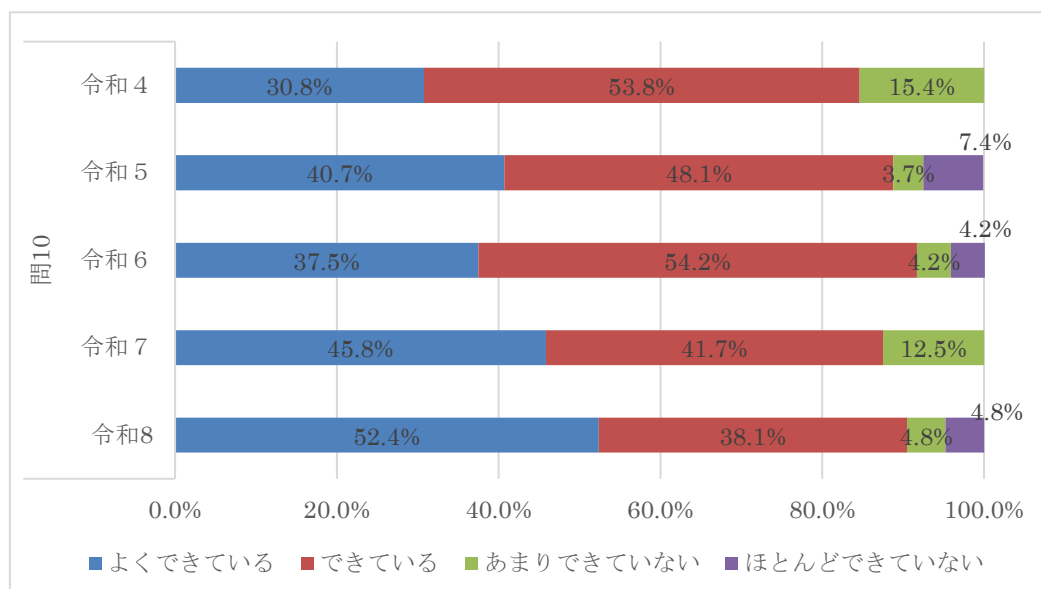
問9 卒業生の社会的評価の把握に努め、キャリアアップを支援していますか。



- ・スポーツ分野の理学療法・トレーナーコースの将来性を学生に伝えられるように自身の活動を通して示すことに取り組んでいる。
- ・卒業生の就職先に勉強会に講師として参加し、卒業生のキャリアアップ支援を行っている。

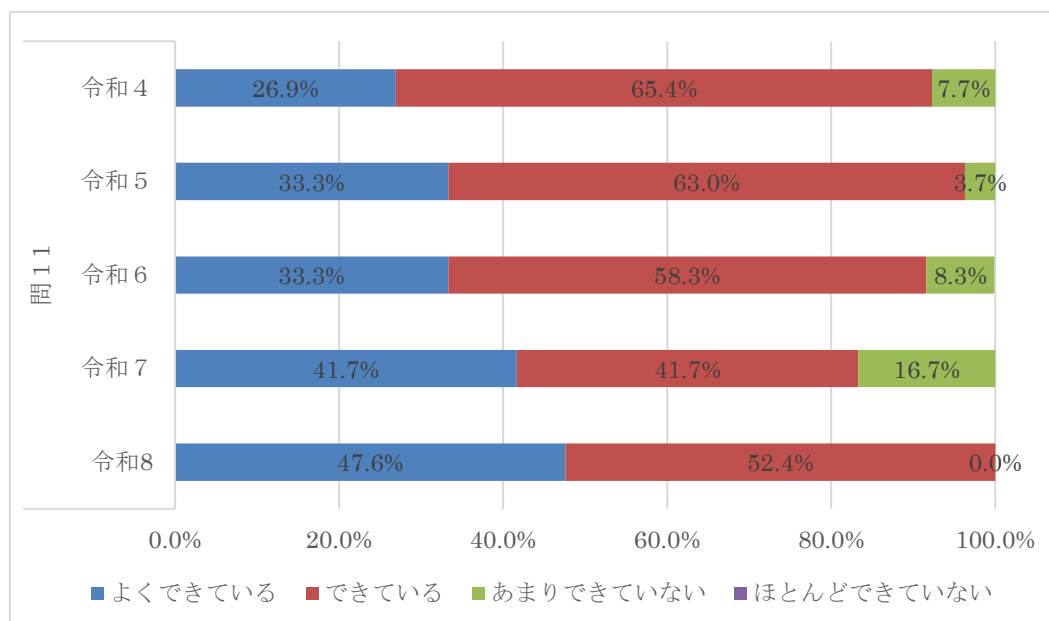
(学生支援)

問10 補習・補講等、学習成果の向上を図る取組を行っていますか。



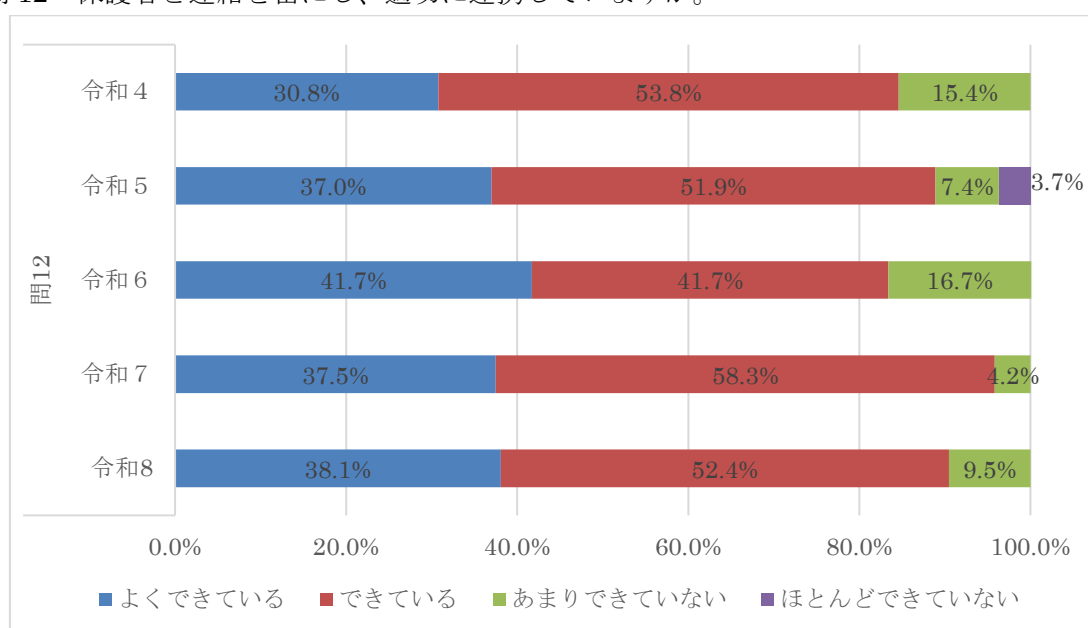
- ・授業では単元理解が出来ているか小テストを実施して理解度を確認している。これから毎授業ごとに確認テストを実施して、授業内容の定着を図りたい。
- ・学生の理解度が低い場合は、必要に応じて補講を行い、理解向上に取り組んでいる。

問 11 学生生活の経済的な面や心身の健康などについて安定した学生生活を送るための支援を心がけていますか。



- ・下宿生や一部の通学生には本校独自の遠隔地学生通学・生活支援制度（しらさぎプラン）を設けている。
- ・各団体や施設独自の奨学金制度を案内するとともに、状況に応じて延納、分納を紹介し経済面における負担の軽減を行っている。

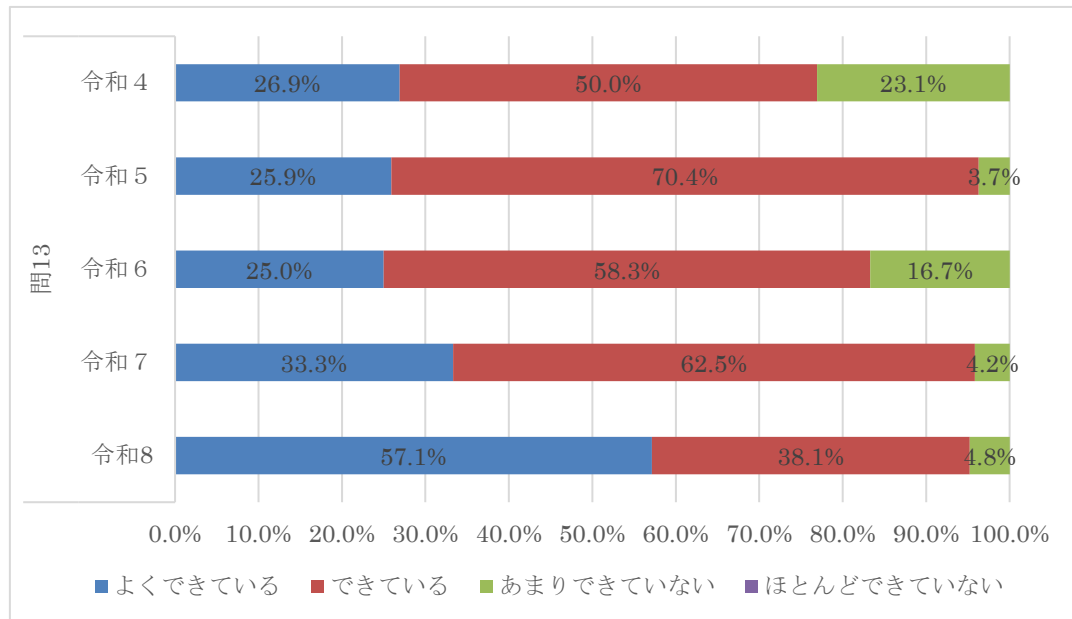
問 12 保護者と連絡を密にし、適切に連携していますか。



- ・出席や成績状況に課題が生じている場合や、生活面に課題が認められる場合は、保証人に連絡をとり情報共有のもと改善の模索や今後の方針を決めている。

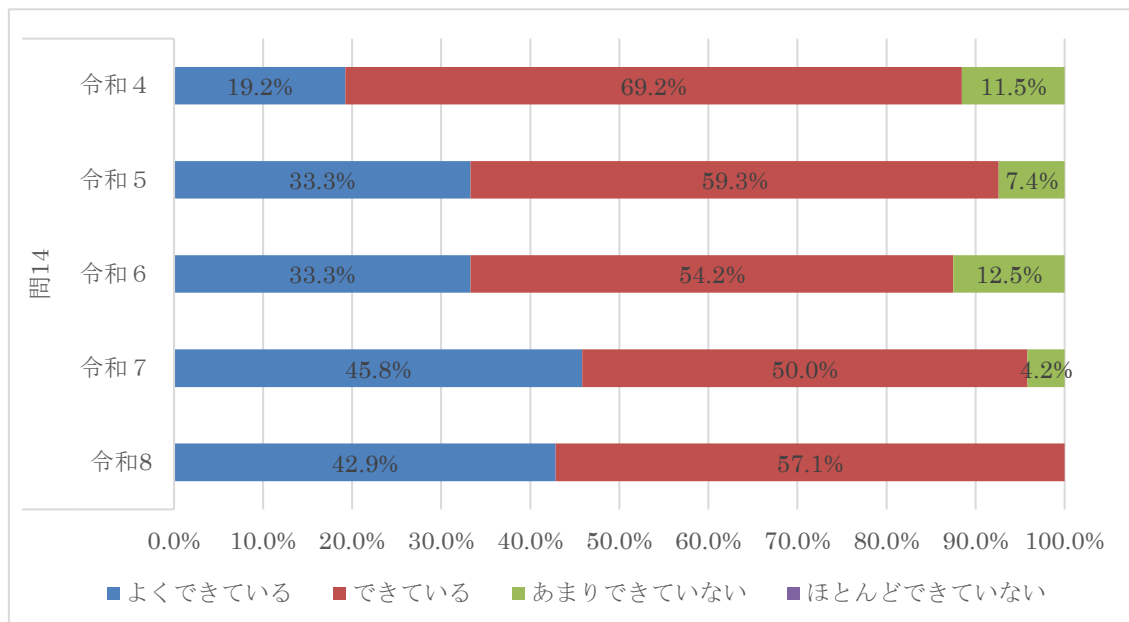
(教育環境)

問 13 施設・設備は、指導に十分活用できていますか。



- ・他学科とも連携を図りながら、効率的な設備利用ができていますと考えられる。
- ・破損の備品や経年劣化の箇所について、順次備品の入れ替えや修繕工事を行っている。

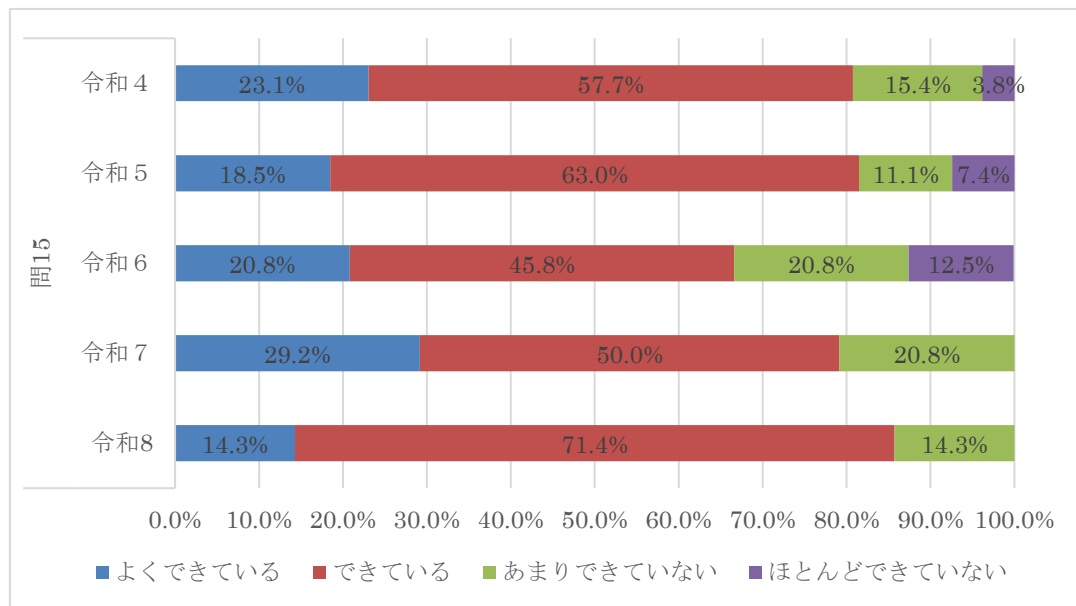
問 14 防災に対する取組や気象警報への迅速な対応等、危機管理を心がけていますか。



- ・前期、後期それぞれに防災訓練を実施し、有事の際における避難手順の確認を行っている。
- ・医療や福祉に従事する職員として対象者をどう誘導するのかを意識させる必要がある。

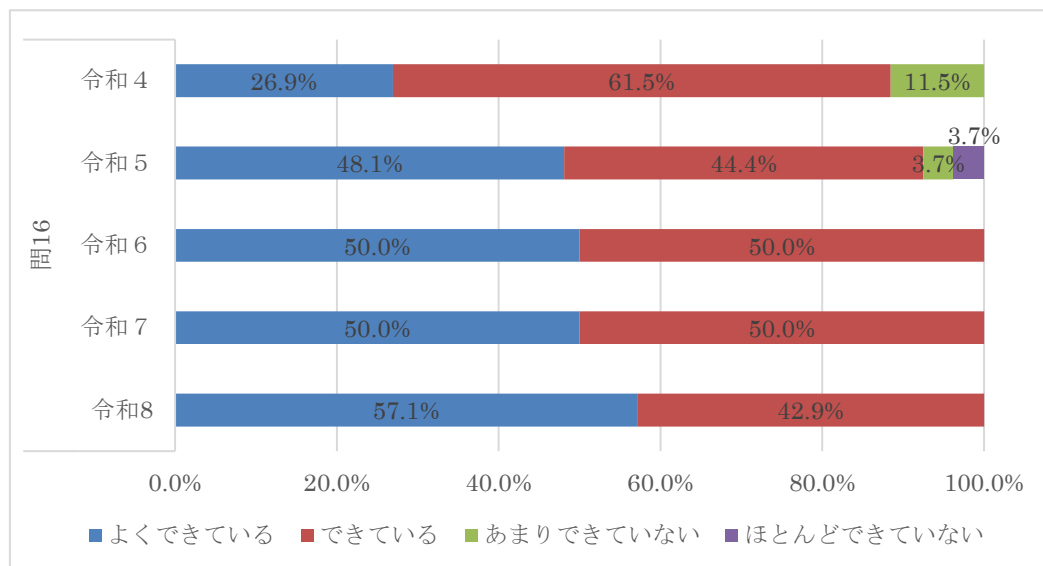
(学生の受入れ募集)

問 15 高等学校等、接続する機関への情報提供等の取組を行っていますか。



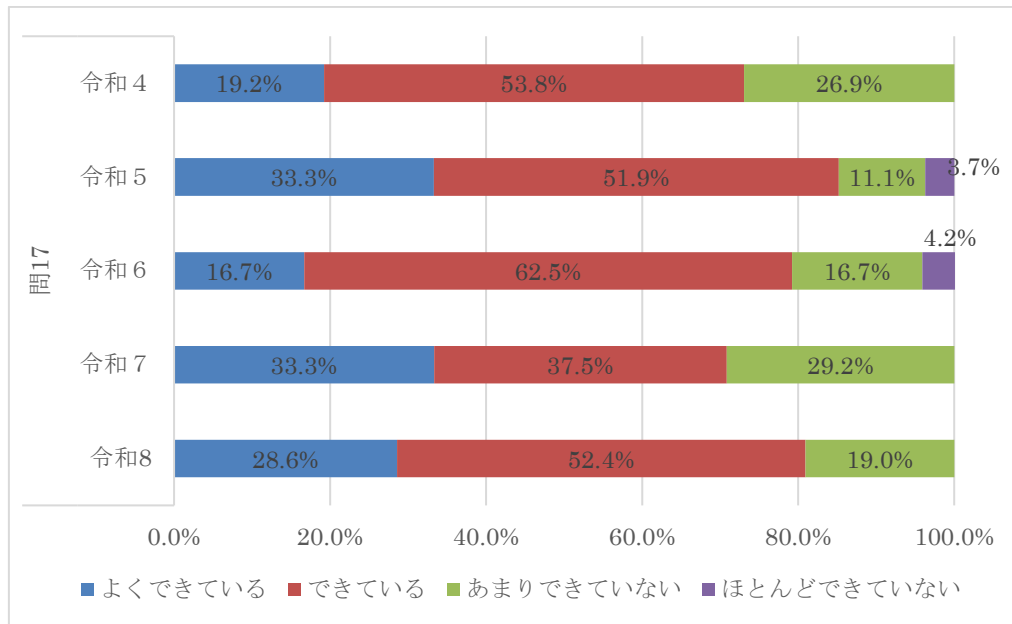
- ・ 18 歳人口が減少する中で、社会人のセカンドキャリアとしての職業選択として紹介できる活動を関係機関にも働きかけていきたい。

問 16 学生募集活動に、専門性を生かして活動していますか。



- ・ 留学生が増加傾向にある一方で日本人学生の募集の難しさを感じる。
- ・ 学生募集において、社会人のセカンドキャリアに注目して活動したいと考えている。また、トレーナーにおける自分自身のキャリアアップも取り組みその魅力を伝えていきたい。
- ・ 専門領域における最新の知見を取り入れるとともに、より実践的な内容を取り入れた授業内容にしている。
- ・ 学んで楽しいと思えるカリキュラムを考えたい。

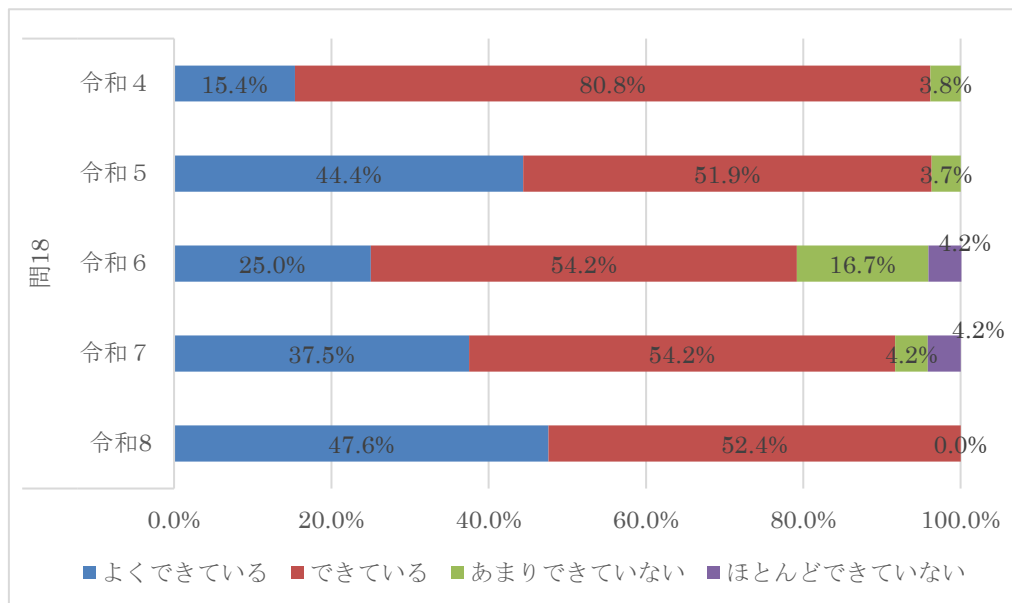
問 17 卒業生紹介者制度、学校関係者紹介制度を活用した募集活動を行っていますか。



- ・在校生向けに紹介者制度を案内しているものの、継続した周知が難しい。今後も発信を続けていく必要性を感じる。

(財務)

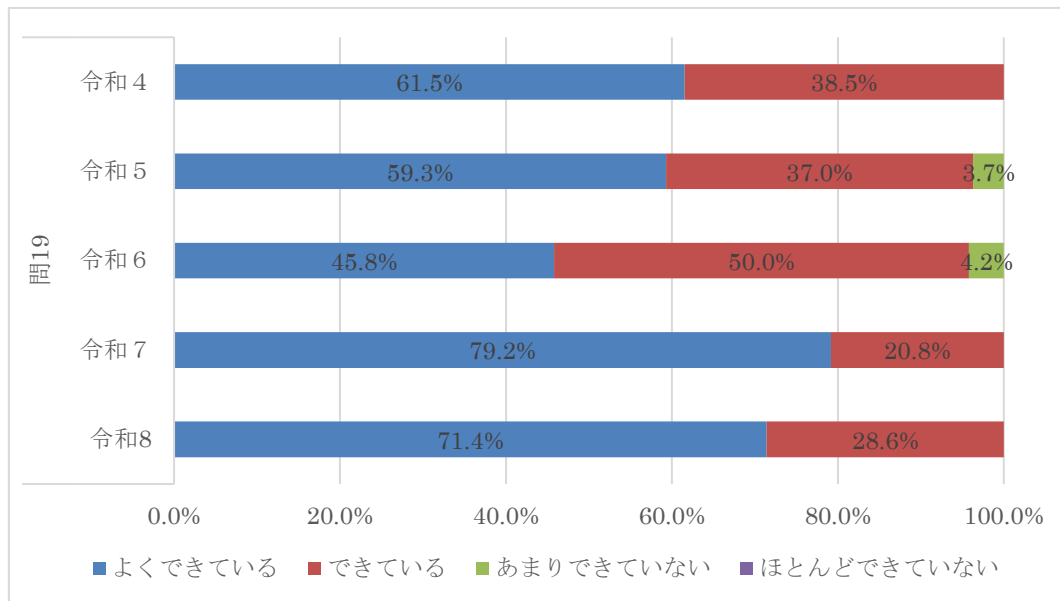
問 18 教育活動に要する費用を効率的に活用するよう意識していますか。



- ・補助金等を活用しながら教育環境の整備に努めている。
- ・専門教育だけでなく、宿泊オリエンテーション、球技大会、ハーベスト祭など学校行事を積極的に行い医療福祉職としてコミュニケーション力の向上を図っている。
- ・教員研修会や学術大会に参加しながら最新の知見を教育活動に反映している。

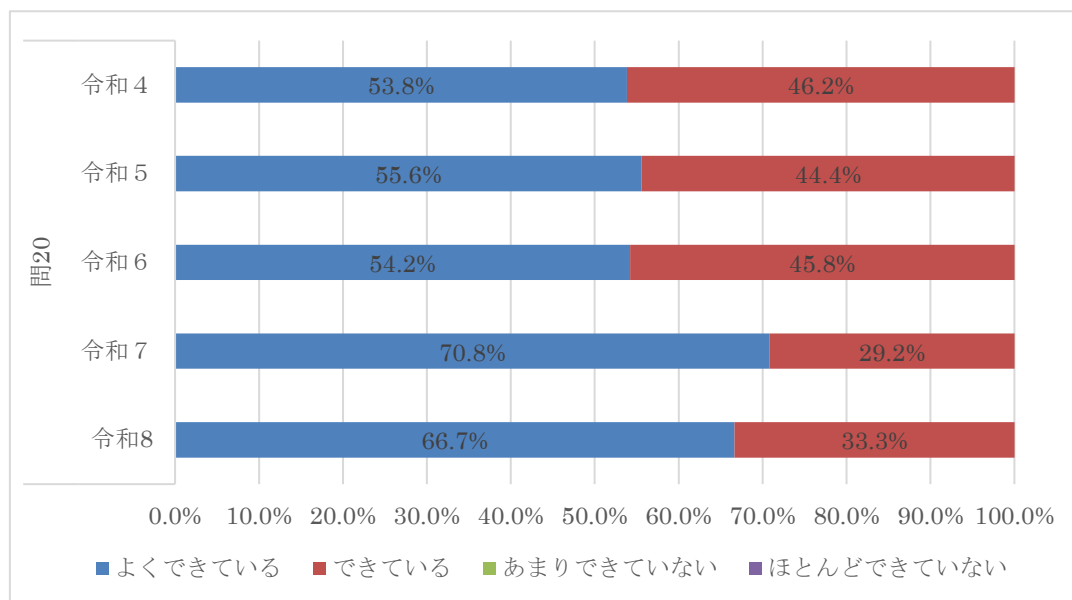
(法令等の遵守)

問 19 教育活動の展開に際して、法令や規則・規約を遵守していますか。



- ・教育活動において国の定める指定規則に基づいて実施できるよう管理している。
- ・リハビリテーション教育評価の認定校として第三者機関の評価を受けている

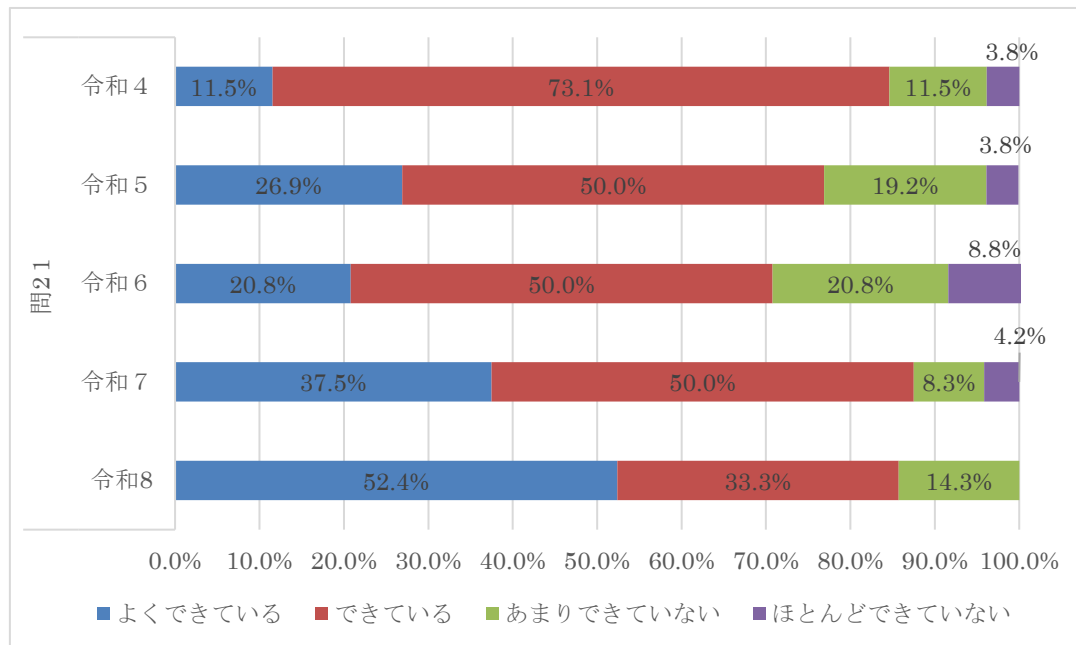
問 20 個人情報に関し、その保護のための対応ができていますか。



- ・個人情報保護にかかわる職員研修会を定期的実施しており、プライバシー保護に対する意識の定着に取り組んでいる。

(社会貢献・地域貢献)

問 21 学校の人材や施設を活用した地域貢献を行っていますか。



- ・ボランティア募集を積極的に受入れており、校外活動にも積極的に参加している。
- ・同窓会研修会や各種専門職講習会の実施、協会団体等の研修受け入れを行っている。
- ・高校や地域のボランティア団体などの活動にも施設や人員の協力を行っている。